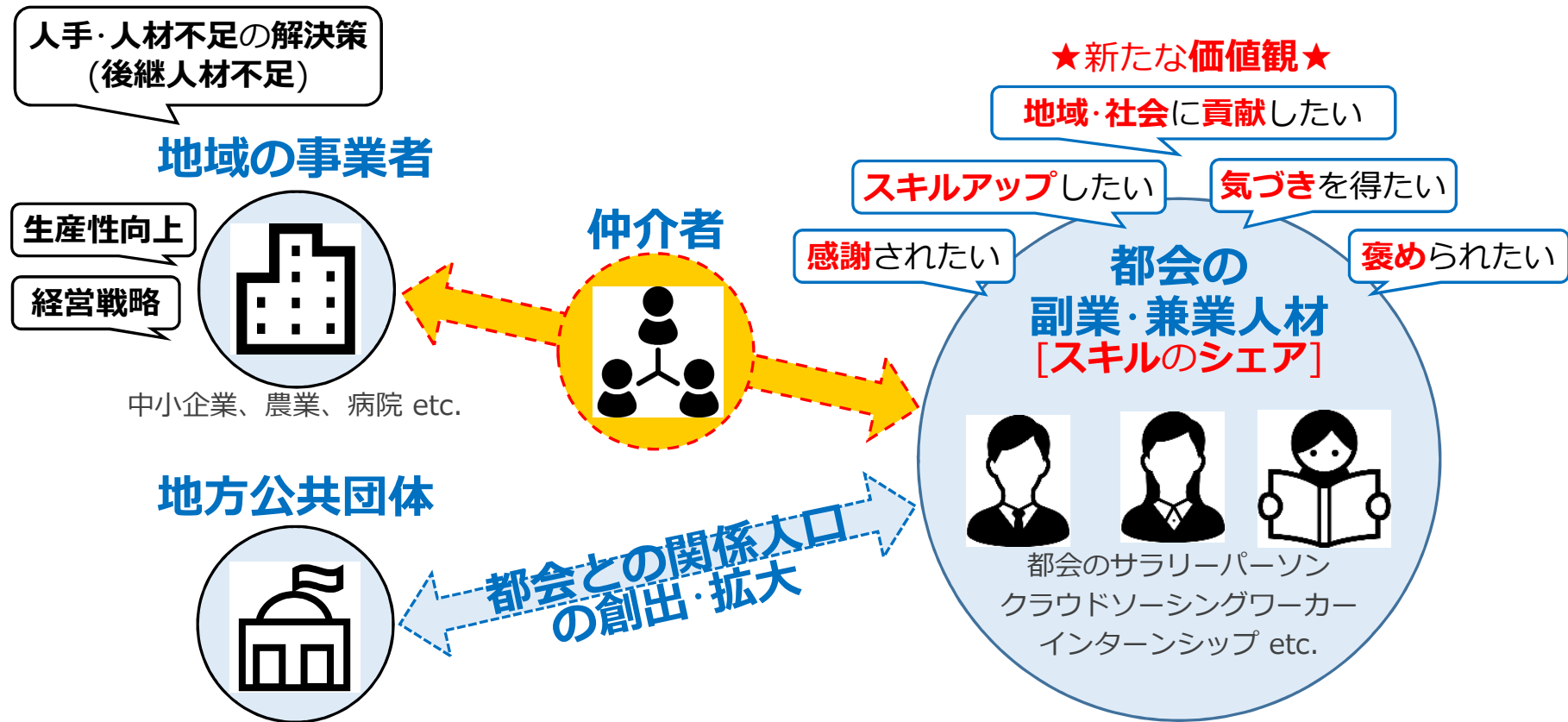


大分モデルソリューション

2020.12.1



- このモデルを広げるには、副業・兼業の**効果的なマッチングの仕組み**が必要。
- 地域の事業者と副業・兼業人材との**ミスマッチ**を解消するには「**つなぎ手**」が重要。
- しかし、スキルのシェア、クラウドの活用等の**仲介者「黎明期」**にある。
- 人材紹介業者（金融機関を含む）などの**仲介ビジネス**が**本格化**するまでの間は、**地方公共団体や大学に新たなソリューションを仲介する役割がある。**

●政府が決定した「**関係人口**、**副業・兼業**」施策 (2019.12.20閣議決定)



第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(抜粋)

第2章 第2期における施策の方向性

(2) **基本目標の見直し** (基本目標2:「**地方とのつながりを築く**」観点の追加)

地域に住む人々だけでなく、地域に必ずしも居住していない地域外の人々に対しても、**地域の担い手**としての**活躍を促す**こと、すなわち地方創生の当事者の最大化を図ることは、地域の活力を維持・発展させるために必要不可欠である。このため、地域外から地域の祭りに毎年参加し運営にも携わる、**副業・兼業で週末に地域の企業・NPOで働く**など、その地域や地域の人々に多様な形で関わる人々、すなわち「**関係人口**」を**地域の力に**していくことを目指す。

2-2 **地方とのつながりの構築**

(1) **関係人口の創出・拡大**

地域への**関心**や**地域との関わり**を深める中で築いた**地域との縁**(関係)が**地方移住を決めるきっかけ**となること**が多い**ことから、**地方移住の裾野拡大**等に向けて、特定の地域に継続的に多様な形で関わる**関係人口の創出・拡大**に取り組む。

その際、地方の暮らしを体験する、地方と都会の暮らしを使い分ける、ボランティア等で定期的に関わるというだけでなく、**地域での就業への関心が高まりつつある**ことを踏まえ、**東京などの都市部の人材**による地方における事業活動を通じた関わりを**拡大・深化**させることや、近年の就業形態の多様化を踏まえ、**副業・兼業という形で都市部の人材の知識・知見を複数の地域で広く共有・活用する**等、**関係人口**は地域ごと、人材ごとに多様な形態があるものと捉えることが重要である。

継続的な関心や**交流**を通じ、様々な形で地域を支える人々を受け入れることは、**地域を支える担い手の確保**そのものであると捉える必要がある。このため、**関係人口の創出・拡大**に向けて、**関係人口になるきっかけづくり・土壌づくり**と、**受入地域における取組**の両面から進める。



人材の 取り合い 抱え込み は 無理。 発想を変えよう

「**人材のシェア**」わかちあおう

「**スキルを提供したい人**」まだたくさんいます

しかも・・・**報酬にこだわらず** スキルを提供したい人が・・・



若い都会のサラリーパーソン：最新の知恵・ノウハウ

人材不足解消や生産性向上も 社長の右腕としての活躍も
進展によっては 事業承継対策の新ソリューションにも・・・



学生：新しいアイデアを自由に

経営課題解決につながる新たな挑戦や新規事業開拓など・・・



クラウドワーカー

必要なときに必要な量の仕事を・・・

事業者も副業・兼業人材も **仲介役への期待** 高まっています
仲介役(金融機関含む)がビジネスとして自立するまでの間は
仲介役としての地方公共団体の役割も存在

いずれにしても悩んだら、まずはご相談ください。

九州財務局(総務課企画係) ☎ 096-206-9791、096-206-9727